



最初の報告サイクルに向けたDAC8およびCARF対応ガイド

最初のDAC8およびCARF報告サイクルに備える会計事務所および暗号資産サービスプロバイダー向けの実践ガイド。規制の概要、適用範囲、重要な日付、生成できる必要があるデータ、最初の報告年度が終了するまでに整備すべき管理策について説明します。

CryptaCount

www.cryptacount.com

General information, not accounting, legal or tax advice

最初の報告サイクルに向けたDAC8およびCARF対応ガイド

最初のDAC8およびCARF報告サイクルに備える会計事務所および暗号資産サービスプロバイダー向けの実践ガイド。規制の概要、適用範囲、重要な日付、生成できる必要があるデータ、最初の報告年度が終了するまでに整備すべき管理策について説明します。

規制の概要

DAC8は、EU行政協力指令を暗号資産に拡張する理事会指令(EU) 2023/2226です。暗号資産の取引を顧客のために仲介する取引所、ブローカー、一部のウォレットプロバイダー、その他のプラットフォームである**暗号資産報告サービスプロバイダー (RCASP)** に対し、ユーザーに関するデューデリジェンスを実施し、本人確認情報、税務上の居住地、取引を税務当局に報告することを義務付けています。

DAC8は、OECDの**暗号資産報告フレームワーク (CARF)** のEU実装であり、両者は意図的に整合しています。両方に直面するプロバイダーにとって、この整合性はこのガイドで最も有用な計画上の事実です。基礎となるデータセットは実質的に同じであり、1つの調整済み・帰属済みレコードセットを構築すれば、2つの並行プロセスを必要とせず、両方の出力に役立ちます。完全な背景は[DAC8ページ](#)と[CARFページ](#)にあります。

適用範囲

義務は暗号資産報告サービスプロバイダーに課されます。実際には、これは**自己記述ではなく実体**に関する質問をすることを意味します：あなたのビジネスは顧客のために暗号資産取引を仲介していますか、それとも単に自己勘定で暗号資産を保有していますか？自社のためにデジタル資産を保有する企業財務は、顧客が取引する取引所、ブローカレッジ、カストディサービスとは大きく異なる立場にあります。

適用範囲の決定は、作業の脚注ではなく、作業の一部です。特定のエンティティ、製品ライン、または顧客集団が報告対象であるかどうかを判断した理由を文書化し、その理由を数値とともに保管してください。防御可能な適用範囲の根拠は、数値自体と同じくらいファイルの一部です。この指令は各加盟国によって国内法に転置されるため、あなたのビジネスに適用される正確な定義、登録手続き、提出形式は、現地で転置された指令および資格のあるアドバイザーに照らして確認する必要があります。

スケジュール

- **国内法への転置:** EU加盟国はDAC8を**2025年12月31日**までに国内法に転置することになっていました。
- **最初の報告年度:** 報告義務は**2026年1月1日**から適用されます。これが最初の報告年度です。
- **最初の報告書:** **2026**暦年を対象とする報告書は**2027年**に提出期限が来ます。加盟国によって異なりますが、概ね2027年1月から9月の間です。

実際の結果として、最初の提出のデータ品質は、2027年に組み立てられるものではなく、**2026年中**に取得したものによって決まります。事後的に再構築された属性は、取引時に取得された属性よりも弱く、場合によってはまったく再構築できません。EU全体で共通の日付を想定するのではなく、その期間内で自国の加盟国の期限を確認してください。

収集可能でなければならないデータ

この制度は、集計ではなく**個人ごと**の報告を組織化しており、これにより適切な記録のあり方が変わります。会計目的で正しく評価・分類された動きは、自動的に報告に十分であるとは限りません。また、報告書が構築される顧客属性と居住地のコンテキストも保持する必要があります。

ユーザーの本人確認情報と税務上の居住地

税務上の識別情報と居住地を含む、デューデリジェンス手続きを通じて収集された検証済みの顧客情報。新規および既存のユーザーの両方に適用され、最新に保たれます。これは、顧客の対応に依存するため、最も遅れがちな部分です。

取引明細

取引レベルの記録は一度取得され、決して密かに上書きされないため、報告された合計は常にソースから再導出できます。日付、資産、数量、価値、および移動の背後にある当事者と活動の分類にリンクされています。ここでは評価の来歴も重要です。変換された各値の背後にあるソースと日付を可視化し、数値の導出を主張するのではなく示すことができるようにする必要があります。

訂正履歴

訂正の追跡された記録。変更履歴なしで修正された提出物は矛盾として解釈されます。文書化された履歴を持つ同じ修正は、管理された訂正として解釈されます。

最初の報告年度が終了する前の対応手順

ステップ	内容	重要性
適用範囲を確認する	関連する加盟国で転置された指令に照らして、各エンティティ、製品、顧客集団をアドバイザーの助言を得て評価します。	下流のすべては、どの集団が報告対象かを知ることが前提です。文書化されていない適用範囲の判断は、後で防御するのが困難です。
会場インベントリを完成させる	顧客活動が流れるすべてのウォレット、チェーン、取引所アカウント、カストディシステムをリストアップし、それぞれが接続され同期していることを確認します。	欠落した会場は、静かに不完全な集団を生成します。これは、国境を越えた情報交換が明らかにするように設計された障害モードです。
ユーザーへのデューデリジェンスを修正する	新規および既存のユーザーにわたって本人確認と税務上の居住地の収集を実行し、それを最新に保つプロセスを設定します。	居住地は報告書の送付先を決定します。これは顧客依存であり、したがってリードタイムが最も長い項目です。
取引時に属性をキャプチャする	各移動が、提出時ではなく入力時点で顧客、居住地コンテキスト、活動タイプを記録するようにします。	数ヶ月後に再構築された属性は弱く、場合によってはまったく利用できません。
重複するフィードを重複排除する	取引所APIとオンチェーン読み取りの両方から到着する同じ経済イベントを1つのレコードにまとめます。	二重計上は、欠落したウォレットが過小計上するのと同様に、報告された集団を過大計上します。
内部転送を分離する	自社ウォレット間の移動と実際の顧客活動を区別します。	自社ウォレットの移動は報告対象の顧客活動ではありませんが、フラグが立てられないと集団を汚染します。
報告書を元帳に照合する	報告対象の集団を、試算表に供給するのと同じサブ元帳に結び付けます。	帳簿に照合できない申告書は、2つのバージョンの真実を残し、どちらに対しても防御策がありません。
提出をドライランする	期限前に実際のデータから報告書を作成し、出力を最初から最後までレビューします。	最初の本番提出は、形式や完全性の問題を発見するには不適切な場所です。
管理策を文書化する	プロセス、適用範囲の根拠、評価方法、訂正手順を書き留めます。	文書化により、チームが変わってもプロセスを繰り返し可能にし、疑問が生じたときにレビュー可能にします。

よくある失敗ポイント

- 報告を年度末のエクスポートとして扱うこと。報告に必要なコンテキストは、締め日ではなく取引時に作成されます。

- **勘定科目に結び付かない報告書。** 元帳で一度照合し、勘定科目と報告書の両方が調整済みの結果に基づくようにします。
- **EUの共通の期限を想定すること。** 最初の報告書は、加盟国によって異なりますが、概ね2027年1月から9月の間に提出期限が来ます。
- **非EUは適用範囲外であると想定すること。** 推測するのではなく、転置された指令およびアドバイザーに照らしてあなたの立場を確認してください。
- **DAC8とCARFを別々のプロジェクトとして実行すること。** これらは設計上整合しており、1つの調整済みデータセットから両方を生成します。

サブ元帳がこれをどう支えるか

CryptaCountは、ウォレット、チェーン、接続された会場からの活動を1つの調整済み暗号資産サブ元帳に保持し、報告が依存する取引ごとのコンテキストを運び、すべての数値の背後に監査可能なトレイルを保持するため、報告された数値はそれが由来する転記にトレースできます。同じ調整済みデータセットが勘定科目と報告書の両方を生成するため、手動で同期される2つのバージョンの真実ではなく、1つのバージョンの真実があります。あなたのビジネスに固有の適用範囲、登録、形式の詳細は、各加盟国で転置された指令および資格のあるアドバイザーに照らして解決すべき事項です。

一般的な情報であり、法的、会計、税務上のアドバイスではありません。関連する各加盟国で転置された指令および資格のあるアドバイザーに照らして、あなたの義務を確認してください。

Disclaimer. 一般的な情報であり、法的、会計、税務上のアドバイスではありません。関連する各加盟国で転置された指令および資格のあるアドバイザーに照らして、あなたの特定の義務を確認してください。



Put your crypto books on a real sub-ledger at app.cryptacount.com

© 2026 CryptaCount. All rights reserved.